

ゆづり葉ズ

河井 醉茗かわい すいめい

子供たちよ。

これは譲り葉の木です。

この譲り葉は

新しい葉が出来ると

入り代かひつてふるい葉が落ちてしまふのです。

こんなに厚い葉

こんなに大きい葉でも

新しい葉が出来ると無造作に落ちる

新しい葉にいのちを譲ゆづつて――。

子供たちよ。

お前たちは何を欲しがらないでも

凡すべてのものがお前たちに譲ゆづられるのです。

太陽の廻めぐるかぎり

譲ゆづられるものは絶えません。

輝かがやける大都會たいとくわいも

そつくりお前たちが譲ゆづり受けるのです。

読みきれないほどの書物も

みんなお前たちの手に受取るのです。

幸福なる子供たちよ

お前たちの手はまだ小さいけれど――。

世のお父さん、お母さんたちは

何一つ持つてゆかない。

みんなお前たちに譲ゆづつてゆくために

いのちあるもの、よいもの、美しいものを

一生懸命いっしょうけんめいに造つくつてゐます。

今、お前たちは気が付かないけれど
ひとりでにいのちは延びる。

鳥のやうにうたひ、花のやうに笑わらつてゐる間に気が付いてきます。

そしたら子供たちよ。

もう一度譲り葉ゆづりばの木の下に立つて

譲り葉ゆづりばを見る時ときが来るでせう。

〈出典 『酔茗詩抄』(岩波書店、一九三八年)〉

【著者】河井 醉茗(かわい すいめい)

一八七四(明治七)年—一九六五(昭和四〇)年

詩人。大阪府の生まれ。

【著書】歌集『無弦弓』、『酔茗詩抄』など